

11月11日(火) 新規プログラム追加!

**2025年度春季 グローバルキャンパストライアル (OSIPプログラム)
イギリス・シェフィールド大学 University English Programme 募集要項**

シェフィールド大学 (The University of Sheffield) は、イギリス中部のサウス・ヨークシャー州シェフィールド市内にある総合大学です。1828年創立の医科大学を母体としており、現在は、6学部で約28,000人の学生が学んでいます。当プログラムはシェフィールド大学英語教育センター (ELTC) によって提供される語学プログラムに参加します。春季休業を利用して、3週間の集中的なプログラムを通じて、英語力のレベルアップを目指してみませんか？

派遣先の情勢、国際情勢等により派遣が中止となる場合があります。

1. プログラム概要

(1) グローバルキャンパストライアル (OSIPプログラム) の概要

本プログラムは、その名のとおり海外留学を“おためし”するイメージで、これまで海外とのつながりがなかった人でも気軽に“トライアル”として参加してもらえるように構築した短期留学プログラムです。行先ごとにプログラム内容は様々で、現地学生や世界各国から集まる学生とともに学んだり、座学にとどまらない活動を取り入れたり、一般的な留学とは異なる「多文化共修」をテーマに設計されています。また、事前事後にオンライン研修 (参加必須) を行うことで、短期間でも留学による学びをより充実させることができます。さらに、本プログラムは文部科学省からの補助金事業の一環で実施されるため、経済支援が手厚くプログラム費用が比較的安価であり、かつ奨学金も受給できるチャンスがあります。なお、本プログラムは大阪公立大学が主催するプログラムに本学も共同参加するものです。

(2) シェフィールド大学プログラム日程

派遣期間 : 2026年2月7日(土) ~ 3月1日(日) (3週間) ※渡航期間含む
派遣先 : シェフィールド大学 (University of Sheffield)、イギリス
宿泊 : 大学近隣の寮

(3) プログラム費用 : **約70万円** ※2025/10時点

※為替レートの変動によりプログラム費用が変更になる場合があります。

- 費用に含まれるもの : 授業料、寮費、航空運賃(燃油サーチャージ・空港諸税等込)、空港送迎バス
- 費用に含まれないもの : 食費、海外旅行保険加入費用、パスポート取得費用、現地での交通費、送金手数料 (銀行振込の場合)、英国事前渡航認証料金 (ETA)

(注) 参加確定後のキャンセルに係る費用は、全て参加者の自己負担となります。申込に当たっては十分ご注意ください。また、プログラム全日程に参加できる者のみ申込可とします。

(4) 募集人数 : **7名** (大阪公立大からは13名参加予定)

(5) 備考

本プログラムは大阪公立大学主催のプログラムのため、大阪公立大の学生と共同での参加となります。なお、オリエンテーションや渡航前研修は、関大が主催で実施するものに加え、大阪公立大が実施するものにも参加必須となります。詳細は「8.参加決定後の各種オリエンテーション/渡航前・中・後の研修・活動について」をご確認ください。

2. University English Programme について

(1) 英語集中講座

UEP コースでは、以下の分野の授業と言語練習を行います。

- ・ライティング：ライティングの正確さと構造を向上させます。
- ・スピーキングと発音：様々な場面で正確さと流暢さを向上させます。
- ・リスニング：アカデミックな場面や一般的な場面での英語の話し言葉を理解します。
- ・読書：長文や複雑な文章に対応できる力を養います。
- ・文法：英語の主な時制や構文の定着を学びます。
- ・語彙力：様々な異なる文脈でより多くの言葉を学びます。

(2) 1対1のチュートリアル

コース期間中は、シェフィールド大学のチューターと定期的に1対1のチュートリアルを受けることができます。このチュートリアルは個人レッスンに似ており、毎週どの分野の英語に重点を置くかを選択することができます。

(3) オプションクラス (無料)

これらのセッションでは、興味のある言語の分野を選んで勉強することができます。例えば、IELTS 試験対策と実践、文法と語彙力強化、社会英語と英国文化、リーディングとスピーキングなどを選択することができます。また、IELTS 試験対策と実践、ビジネス英語など、特定の目的のために勉強も可能です。

(4) シェフィールドの学生用宿舎

寮滞在で、1人1部屋割り当てられます。寮は大学の近くにあり、通学費用は不要です。

(5) 授業スケジュール例

	9:30~ 11:00	11:00~ 11:30	11:30~ 13:00	13:00~ 14:00	14:00~ 15:30	15:30~ 16:30
月曜日	Language Development	休憩	Language Development	昼休み	Option Class	Self-Study / Tutorial
火曜日	Language Development	休憩	Language Development	昼休み	Option Class	Self-Study / Tutorial
水曜日	Language Development	休憩	Lecture Preparation	昼休み	Online Lecture	Self-Study / Tutorial
木曜日	Language Development	休憩	Language Development	昼休み	Option Class	Self-Study / Tutorial
金曜日	Language Development	休憩	Language Development	昼休み	自由時間	Self-Study / Tutorial

※変更になる場合があります。

3. 参加資格

- ・出願時点で有効なパスポートを所持している者 (**未取得者・申請中の方は申込不可**)
- ・関西大学に在学中の1~4年次学部生および大学院生
- ・プログラムの趣旨を理解し、募集要項に記載するルールや注意事項を遵守できる者
- ・**参加決定後に実施される、事前・事後研修すべてに参加できる者** ※休学中の者は応募不可
- ・イギリスの文化に興味・英語力を伸ばしたいという意欲のある者
- ・現地学生および参加学生間で協力しあい、自主的に行動ができる者
- ・他国の文化や歴史、習慣に敬意を払い尊重しながら、責任ある行動をとれる者

4. 奨学金について

本プログラム参加者が対象となる奨学金は、以下 3 種類あります。

(1)国際交流助成基金短期派遣奨学金

参加者全員にプログラム修了後に **10万円**支給されます。支給にあたって必要な書類など、詳細は別途お知らせします。

(2)JASSO 海外派遣留学支援制度（協定派遣・重点政策枠）奨学金

参加者のうち、選考時の前年度（1年生は春学期）の成績評価係数（GPA ではありません）が3点満点中 2.30 以上の学生には、本制度により給付奨学金が **11万円**支給されます（最終的な計算は国際部で行います）。出願後、提出書類等や必要な手続きなどを別途案内します。なお、JASSO 奨学金は日本国籍もしくは日本への永住権をお持ちの方に限ります。

■成績評価係数の算出方法…関西大学での成績評価を「成績評価ポイント」に換算し、計算式にあてはめて計算します。

関大での成績評価	秀	優	良	可	不可
成績評価ポイント	3	3	2	1	0

■計算式

$$\frac{(\text{評価ポイント 3 の単位数} \times 3) + (\text{評価ポイント 2 の単位数} \times 2) + (\text{評価ポイント 1 の単位数} \times 1) + (\text{評価ポイント 0 の単位数} \times 0)}{\text{総登録単位数}}$$

(3)JASSO 海外派遣留学支援制度（協定派遣・重点政策枠）渡航支援金

(2)の奨学金の対象となる学生のうち、家計年収 300 万円（給与所得の所得を含む場合は 200 万円）以下の学生には、渡航支援金として **16万円**が追加で支給されます。(2)の対象者となる学生には、別途渡航支援金支給にかかる提出書類についても案内しますので、対象者確認のうえ必要書類を提出してください。

※奨学金に関する注意事項※

事前事後研修および現地での授業や活動において出席率が著しく低い場合や、報告書と修了書の提出が指定の期日までに確認できない場合は支給できません。

5. 語学要件

本プログラムに参加するうえで、目安となる英語能力は【**CEFR B1 レベル**】です。出願の際に英語能力を示す証明書（検定のスコアレポート）が必要となりますので、ご準備ください。

■CEFR B1レベル

GTEC 260～、TOEFL ITP 505～、TOEFL iBT 60～、TOEIC 550～、IELTS 5.0～、英検 2 級～

6. プログラムに関する補足・注意事項

(1) 単位認定

科目名：海外研修（派遣先大学名） 認定単位数：2 単位

※成績は全プログラムで「認」となります。（いずれもプログラム修了者のみ）

※単位は授業時間数（30 時間…1 単位/60 時間…2 単位）に応じて認定されるため、出席率が著しく低い場合は、単位認定できない可能性があります。

※本単位の取り扱いについては、学部・研究科によって取り扱いが異なるため、詳細は申込前に教務センター等で確認してください。なお、2026 年 3 月に卒業する場合、単位認定はありません。

(2) キャンセルポリシー

・参加決定後のキャンセルや留学先変更は認めません。申込前に費用やプログラム内容等、参加について十分に考慮し、保証人の方とよく相談したうえで出願してください。キャンセルすると参加人数減による参加費の増額または催行人員の不足につながり、他の参加者に迷惑がかかります。

・参加決定後は参加費の支払い前であっても、一定の取り消し費用が発生します。

(3) 申込にあたっての注意事項

- ・出願時点で有効なパスポートを所持している方のみ出願可です。出願時に未取得の方、申請中の方は出願できません。
- ・留学先の受入れ状況の変化や治安状況等、予期せぬ事態によってプログラムを中止・中断することがあります。
- ・参加者は健康診断の受診が必須です。各キャンパスで 2025 年 4 月に実施した健康診断を未受診の場合は、大学指定医療機関で受診する必要があります（有料）。
- ・1 日 1 回は RyuGo システムにログインし、国際部からの新たな連絡や対応すべき手続きがないか必ず確認してください。

(4) 参加にあたっての注意事項

- ①派遣先大学や現地担当者、大阪公立大学担当者からの指示に従うこと。
 - ②現地での勉学や異文化体験を積極的に吸収する意欲を持つこと。
 - ③自己責任の原則を理解して、留学先での社会的マナーや文化、風習を守り、関西大学の学生として相応しい行動をとること。
 - ④参加にあたっては自身で現地に関する情報収集に努め、事前にトラブルや問題発生を防止するよう心掛けること。
 - ⑤研修期間中は団体行動を伴う場面もあるので、節度ある行動を心掛けること。
- ※上記、注意事項を守ることができない場合、あるいは違反した場合は、途中帰国や本プログラムへの参加を取り消す場合があります。

(5) 出発前のプログラム参加取り消しについて

参加者は、次の事項を遵守すること。

- ①全ての各種提出物等を、定められた期日までに提出（処理）する。
- ②留学前・留学後に行われるオリエンテーション・セミナーで必須とされているものは全て出席する。

上記を遵守できない者は、留学の成業を期待できないものとして、所属学部・研究科に通達したうえで、留学を取り消すことがあります。なお、その際手配済の航空運賃や宿舍などの各種手配のキャンセルに伴う費用は全て自己負担とします。

7.申込方法・参加決定までの流れ

(1) 申込期間

2025 年 11 月 13 日(木) 9 : 00 ~ 11 月 19 日(水) 12 : 00 (正午)

(2) 申込方法 ★RyuGo システムで出願を受け付けます

1. RyuGo ユーザー登録

<https://www.ryu-go.com/area/p/octf5oftdo4tcsft9/kk5y7I/login.html?univId=KSc6pxu33NEB>

⇒別添マニュアルを参照し、上記 URL から登録を行ってください。

※ユーザー登録は上記の申込み期間前から登録が可能です。

※書類の作成および RyuGo 操作に関しては必ずパソコンを利用すること。

※メールアドレスは関大アドレス (k+6 桁の数@kansai-u.ac.jp) を使用すること。

※複数プログラムへの併願や提出書類の不備があった場合は全て出願無効となります。



2. 提出物…GLOBAL NAVI から様式をダウンロード、4 点を準備・Ryugo システムからアップロード

■誓約書

参加者本人および保証人が誓約書（別添）を熟読したうえで、それぞれが署名（自筆）すること

※印刷した誓約書に署名し、ページ全体がわかる PDF データまたは画像データを準備しておくこと。

■出願時チェックシート

チェックシートの内容をよく理解したうえでチェック、記入すること。（Word、PDF どちらでも可） ※画像データ不可

⇒別添の「提出例」を参照し、書類に不備がないか確認したうえで出願してください。

■英語能力証明書

過去に受験した検定のスコアレポートを PDF データまたは画像データにして準備しておくこと。

■パスポートコピー

顔写真があるページを PDF データまたは画像データにして準備しておくこと。

8. 参加決定後の各種オリエンテーション/渡航前・中・後の研修・活動について

プログラム参加決定者は、①各種オリエンテーションへの出席、②オンデマンドでのセミナー動画視聴（ミニッツペーパー提出）、③渡航前・中・後に実施されるオンラインでの研修や活動への参加のすべてが**必須**となります。すべてに参加できない場合は、**奨学金が支給停止および単位認定不可**となる場合もありますので、すべて参加できるように予定を調整した上で申し込むようにしてください。

①各種オリエンテーション・ガイダンススケジュール ※全員参加必須・両プログラム共通※

日程	時間	形態	主催	内容
11月21日（金）	12：30～	オンライン	公立大	第1回参加者ガイダンス
12月11日（木）（予定）	18：00～19：00	対面	関大	参加者決定オリエンテーション
1月中	未定	オンライン	公立大	第2回参加者ガイダンス
1月30日（金）（予定）	18：00～19：00	対面	関大	出発前オリエンテーション
2月上旬	未定	オンライン	公立大	第3回参加者ガイダンス

②オンデマンドセミナー動画 ※視聴後ミニッツペーパー提出必須

セミナー名
留学前に知っておきたいジェンダー・人種と交差性の話
危機管理セミナー
海外旅行保険説明動画

※視聴方法は、参加決定後に案内します。

③事前英語研修（English Café） ※大阪公立大にて実施

下記日程から**最低2日間**、自身で選択して参加していただけます。ただし、研修はすべて大阪公立大で行われるため、大阪公立大に行って参加できる日のみを選択してください。

- ・11/24.12/1.12/8.12/15（すべて月曜日 / 時間…15：00-16：30）
- ・11/26.12/3.12/10.12/17（すべて水曜日 / 時間…16：45-18：15）

※実施場所などの詳細は、申込者のみに通知します。

④渡航中・帰国後の To do

日程	時期	形態	内容
渡航中（全プログラム共通）	渡航中	各自	リフレクションログ作成
帰国後（全プログラム共通）	帰国後	オンライン	報告書作成、リフレクションタスク作成・回答

9. 出入国手続きについて

<イギリスへの入国手続きについて>

● ビザ

日本国籍の方：ビザ申請は不要です。

但し、2025年1月以降、日本国籍者は英国への渡航時に電子認証（ETA）の取得が必要です。

詳細：https://www.uk.emb-japan.go.jp/itpr_ja/ETA.html

また、入国時にパスポートの有効期限がプログラム終了までに残っている事と帰路の航空券の所持が必要です。

外国籍の方：ビザ（査証）が必要な場合があります。各自にてご確認下さい。

安全対策方針

外務省「危険情報」・「感染症危険情報」の目安と関西大学の基本方針

・外務省「危険情報」

目安	目安の詳細	大学の基本方針	
		渡航前 (2カ月前～)	渡航中
■危険レベル1 十分注意してください。	その国・地域への渡航、滞在に当たって危険を避けていただくため特別な注意が必要です。 ※当該国(地域)への渡航、滞在に当たって特別な注意が必要であることを示し、危険を避けるよう勧めるもの。	原則 「実施」する →注意喚起を行う。	原則 「継続」する →注意喚起を行う。
■危険レベル2 不要不急の渡航は止めてください。	その国・地域への不要不急の渡航は止めてください。渡航する場合には特別な注意を払うとともに、十分な安全対策をとってください。 ※当該国(地域)への渡航に関し、渡航の是非を含めた検討を真剣に行い、渡航する場合には、十分な安全措置を講じることを勧めるもの。	「中止・延期」を検討する	「帰国」を検討する
■危険レベル3 渡航は止めてください。(渡航中止勧告)	その国・地域への渡航は、どのような目的であれ止めてください。(場合によっては、現地に滞在している日本人の方々に対して退避の可能性や準備を促すメッセージを含むことがあります。) ※当該国(地域)への渡航は、どのような目的であれ中止を勧めるもの。また、場合によっては、現地に滞在している日本人の方々に対して退避の可能性の検討や準備を促すメッセージを含むことがある。	「中止」とする	「帰国」とする
■危険レベル4 退避してください。渡航は止めてください。 (退避勧告)	その国・地域に滞在している方は滞在地から、安全な国・地域へ退避してください。この状況では、当然のことながら、どのような目的であれ新たな渡航は止めてください。 ※当該国(地域)に滞在している全ての日本人に対して、滞在地から安全な国・地域への退避(日本への帰国も含む)を勧告するもの。この状況では、当然のことながら新たな渡航は延期することが望まれる。	「中止」とする	「即時帰国」とする

・外務省「感染症危険情報」

目安	目安の詳細	大学の基本方針	
		渡航前 (2カ月前～)	渡航中
■危険レベル1 十分注意してください。	特定の感染症に対し、国際保健規則(IHR)第49条によりWHOの緊急委員会が開催され、同委員会の結果から、渡航に危険が伴うと認められる場合等。	原則 「実施」する →注意喚起を行う。	原則 「継続」する →注意喚起を行う。
■危険レベル2 不要不急の渡航は止めてください。	特定の感染症に対し、IHR第49条によりWHOの緊急委員会が開催され、同委員会の結果から、同第12条により「国際的に懸念される公衆の保健上の緊急事態(PHEIC)」としてWHO事務局長が認定する場合等。	「中止・延期」を検討する	「帰国」を検討する
■危険レベル3 渡航は止めてください。(渡航中止勧告)	特定の感染症に対し、IHR第49条に規定する緊急委員会において、第12条に規定する「国際的に懸念される公衆の保健上の緊急事態(PHEIC)」が発出され、同第18条による勧告等においてWHOが感染拡大防止のために貿易・渡航制限を認める場合等。	「中止」とする	「帰国」とする
■危険レベル4 退避してください。渡航は止めてください。 (退避勧告)	特定の感染症に対し、上記のレベル3に定めるWHOが感染拡大防止のために貿易・渡航制限を認める場合であって、現地の医療体制の脆弱性が明白である場合等。	「中止」とする	「即時帰国」とする

誓約書 提出例

【作成方法】 PCにて書式をダウンロードして印刷し、直筆で署名を記入(署名以外は打ち込み可)

【提出方法】 PDFデータ。ただしPDFデータが作成できない場合のみ書面全体が鮮明に写っている写真データも可

※保証人と同居しておらず、1枚の誓約書に学生と保証人の両方が署名できない場合は別々の用紙に署名し、誓約書を2件提出することも可能

※13ページ、または誓約書2ページ目の「安全対策方針」を熟読し、理解した上で作成すること

すべての項目を確認し、
チェックを入れる

学生と保証人それぞれの
直筆署名（代筆不可）

忘れずに記入

※画像はサンプルです。

【よくある不備の例】

- ・ 学生による保証人署名の代筆、パソコン上のデジタルサイン
- ・ スマートフォンでのダウンロードおよび作成を行ったことによる書式の崩れ
- ・ <写真データの場合>
- ・ 書面の全体が写っていない、影が入っている、画像がぼやけているなど、記入内容が鮮明に見えない

出願時チェックシート・志望理由書 提出例

【作成方法】 PCにてダウンロードした書式に、署名も含めて全てパソコンで打ち込んで作成 (手書き不可)

【提出方法】 Wordデータ※PDF化不要 (写真データ不可)

語学セミナー出願時チェックシート・志望理由書

■語学セミナー出願時チェックシート

以下、語学セミナー参加にかかる注意事項・遵守事項を確認し、十分内容を理解したうえで各項目左側のボックスにチェックを入れてください。以下の事項が十分に守られていないと判断された場合は、国際部職員との面談および返答文を提出していただきます。それでも改善されない場合は、プログラムへの参加取り消しおよび奨学金の支給ができませんので注意してください。

出願に関するチェック項目 内容を確認して、☑を入れてください

①募集要項を熟読し、特に p.5-6 の「申込・参加にあたっての注意事項(必須)」についてすべて理解していること。

②追加試験日程(○/○-○/○)に異なるプログラムに参加する場合、何らかの理由により追加試験の対象となっても受験できないこと、追加試験の受験を理由とした出発日の変更等はできないことを理解していること。

③出願時に必要な書類に不備もしくは書類の提出漏れがあった場合、先着順の序列から外れることを理解していること。

④プログラム費(全額)の支払日は○月○日(○)であり、その日までに確実に費用全額を準備できること。

⑤有効なパスポートを所持しているもしくは現在申請中であること。 ※出願時に未申請の場合は出願不可

※どちらか該当する項目 1つのみ入力

・現在パスポートを所持している場合、パスポートの期限は、2025年○月○日

・現在申請中の場合、パスポート申請日: 2025年○月○日 / 受け取り予定日 2025年○月○日

⑥出願後はいかなる理由においてもキャンセル不可であり、プログラム費用支払い前であっても一定の手続き費用が発生する旨、理解していること。

参加決定後に関するチェック項目

①1日1回は Ryugo システムにログインし、国際部からの新たな連絡や対応すべき手続きがないか確認すること。

②各手続き (Ryugo 上でのタスク) に厳格に守られている期限を必ず遵守すること。

③国際部からの着信があった場合は、速やかに折り返し連絡すること。(国際部: 06-6368-1174)

④オリエンテーション、留学前セミナーには全て出席すること。(途中参加や、授業以外の欠席は認めません)

⑤ホストファミリーや滞在先でのルームメイトの人種・宗教・国籍・家族構成等 (性別・年齢を含む) の指定およびこれを理由とした滞在先の変更はできないことを理解していること。

■語学セミナー参加にかかる志望理由書

①本プログラムへの参加を希望する理由を記入してください。(130字以上~150字程度)

私は、異文化理解と語学能力の向上を目指して本プログラムに参加したいと考えています。語学学習は単なる言葉の習得にとどまらず、文化や価値観の違いを理解することが大切だと思います。このセミナーでは、実践的な英語運用能力を身につけるとともに、他国の文化や社会について深く学び、国際的な視野を広げることができると思います。また、今後のキャリアにおいても、語学力と異文化理解が重要なスキルとなると考えているため、本プログラムに参加したいと考えています。

②留学を通して達成したい目標を記入してください。(130字以上~150字程度)

留学を通して、語学力の向上はもちろん、異文化交流を深め、国際的な視野を広げたいことを目標としています。現地の人々と積極的に交流し、実践的な英語運用能力を身につけたいと考えています。また、異なる文化や価値観を理解することで、柔軟な考え方を養い、将来の仕事や社会活動に活かせるスキルを得ることを目指しています。

学籍番号: 経00-0000 氏名: 関西 太郎

すべての項目を確認し
チェックを入れる

※パスポート未取得の場合、出願前に申請を完了すること (取得予定日は不可)

現在申請中の場合は、パスポート申請日、および受け取り予定日を入力すること

志望理由書①②は、Word画面上部「校閲」タブの文字カウント等でチェックし、それぞれ指定文字数を満たすよう入力すること

※画像はサンプルです。

【よくある不備の例】

- ・手書きで作成
- ・パスポート申請日未記入 (パスポート未申請の場合は出願不可)
- ・パスポートの期限がプログラムの修了期間まで有効でない
- ・志望理由書の字数不足
- ・チェック入力や文字入力による書式のずれ
- ・スマートフォンでのダウンロードおよび作成を行ったことによる書式の崩れ